

ネスレの存在意義 (パーパス)

食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます

ネスレ日本は、私たちの存在意義を達成するため、製品・サービスを通してお客さまの問題解決に取り組んでいます

個人と家族のために

さらに健康で幸せな生活を
実現します



健康的なコーヒー飲用習慣の推奨

コーヒーは日本人にとって最大のポリフェノール摂取源として知られています。「3 Coffee a Day~1日3杯のコーヒー習慣がいい人生をつくりまします」をキーメッセージに、1日3杯のコーヒー飲用習慣を提案しています。



健康的な選択肢の提供

ネスレヘルスサイエンスは、「アイソカル」をはじめとした栄養補助食品を全国1万軒以上の医療機関、介護施設の現場にお届けしています。少量高カロリーのコンパクト栄養食「アイソカル 100」「アイソカル ゼリー ハイカロリー」は、食事量が気になる時などにもカロリーを手軽に補給でき、高齢者の健康維持に役立てられています。



製品パッケージ上の栄養表示

健康的な食生活に役立つ情報を提供し、ネスレ製品への理解を深めていただくため、製品パッケージ表面で1食当たりのエネルギー(熱量)、脂質、飽和脂肪酸、糖類や食塩相当量と、それらが1日の目安に対して占める割合(%)をアイコン化してわかりやすく表示、パッケージ裏面の「ネスレニュートリショナルコンパス」の栄養成分表示と連動して詳しい栄養情報をガイドしています。



コミュニティのために

困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します



人とペットの豊かな共生社会実現のために

ネスレピュリナペットケアが目指すのは、人とペットが共に暮らす豊かな社会の実現です。そのためにペットをとりまく社会問題解決に向けて、ペットとペットを愛する人々に寄り添いながらさまざまな取り組みを進めています。



沖縄コーヒープロジェクト

ネスレ日本と沖縄SV株式会社は、沖縄県名護市、琉球大学と連携、沖縄初となる大規模な国産コーヒーの栽培を目指す「沖縄コーヒープロジェクト」を2019年に開始しました。沖縄県内の放棄地を活用するなど、沖縄県の一次産業の問題解決を目指しています。取り組み加速のために、新たに沖縄県うるま市とも連携を開始しました。



地域コミュニティの活性化を目指して

ネスレ製品やサービスを通じて、地域コミュニティの活性化を支援しています。2021年4月、兵庫県芦屋市と共同で、「ASHIYA cafe supported by NESCAFÉ」を芦屋市役所内に新設しました。地域の皆さまの交流の場であると同時に、カフェのスタッフとして障がいのある方に就労機会を提供することも目的としています。



地球のために

資源と環境を守ります



製品パッケージの改善

持続可能なパッケージを目指して、製品パッケージの改善に継続的に取り組んでいます。2019年から始めた「キットカット」大袋製品の外袋素材をプラスチックから紙に変更する取り組みは、2020年にほぼすべての「キットカット」大袋製品へ拡大、取り組み開始以来累積790トン(2021年末時点)のプラスチックを削減しました。



持続可能な物流環境を目指して

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するというコミットメントを掲げてグローバルで取り組んでいます。ネスレ日本は、顧客向けの製品配送における持続可能な物流環境の構築に向けて、株式会社リクスと共同で電気トラック1台(三菱ふそうトラック・バス株式会社 eCarter)を導入、関西地区での運用を開始しました。



国内3工場で埋立廃棄物ゼロ

国内の全3工場が埋立廃棄物ゼロを2016年に初めて達成して以来、現在も継続しています。島田工場(静岡県)と姫路工場(兵庫県)では、コーヒー抽出工程で排出されるコーヒーかすのほぼ100%をバイオマスとして再利用し、その再生可能エネルギーで発生した蒸気を工場の熱源として利用しています。



日本におけるネスレのブランドは
食品、飲料、ペットフードの
幅広い分野にわたっています



Nestlé. Good food, Good life

